

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 熊本県 (都道府県: 熊本県)

|  |  |                            |           |              |
|--|--|----------------------------|-----------|--------------|
| 事業メニュー   | 結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり機運醸成事業  |                            |           |              |
| 区分   | 重点メニュー   |                            |           |              |
| 関連事業メニュー   | 3.2.4 子育て支援情報の「見える化」と相談体制の構築   |                            |           |              |
| 個別事業名  | 「聞きなっせAIくまもと」多言語機能改修   | 新規／継続<br>(一般財源での<br>実施も含む) | 継続        |              |
| 実施期間   | 交付決定日  | ～                          | 令和6年3月31日 | 事業開始年度 R1 年度 |
| 自治体における少子化<br>対策の全体像及びその<br>中での本個別事業の位<br>置付け<br>※(注)2   | (地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)  |                            |           |              |
|  | <p>&lt;地域における実情と課題&gt;</p> <p>熊本県においては、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策「子供を安心して産み、育てられる環境整備」において、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援の充実を図る施策を行っている。</p> <p>具体的には、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組む市町村を後押しするため、県単独の交付金事業を実施するとともに、県においては、平成29年(2017年)8月、知事が先頭に立って、職員や社員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やして、結婚や子育てがしやすい熊本県を目指すため、様々な機会を捉えて多くの企業等に働きかけを行った。</p> <p>平成30年度、本交付金を活用して、「よかボス企業」・県・市町村からなる協議体「よかボス倶楽部」を立ち上げ、令和元年度には、「よかボス倶楽部」企業間交流支援センターを設置し、企業間交流の促進やよかボスの普及活動を実施している。</p> <p>その結果、「よかボス」の企業・団体の数は943社(R4.12月末時点)、「よかボス企業」のある市町村数は42市町村/45市町村にまで広がりを見せている状況。</p> <p>しかし、令和3年の県内婚姻数が6,577件、出生数12,670人と、経年的に低下傾向にあり、少子化対策の観点から、子育て支援の充実を含め、これまでの取組みを更に加速させる必要がある。(参考:平成27年婚姻数8,249件、出生数15,577)</p> |                            |           |              |
|  | <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;</p> <p>本事業は、主に妊娠期～子育て期における支援として、また、子連れ世帯の外出・移動支援の基盤となる事業の位置付けで実施。</p>  |                            |           |              |
|  | <p>(本個別事業における現状と課題)</p> <p>これまで、市町村FAQの定期的な見直しに加え、新規FAQの作成等を行ってきたが、媒体として活用するLINEの仕様上、9件までしか回答が表示されないため、回答をカテゴリ(分類)化するメンテナンスを実施することで、回答率を上げることができる。</p> <p>また、次年度以降、県内在住外国人が多く増えることが見込まれるため、当該子育て世帯に対する対応が喫緊の課題。</p>  |                            |           |              |
| <p>(課題への対応)</p> <p>昨年度に引き続き、FAQ見直しを中心に市町村と連携して運用していく。</p> <p>県内在住外国人の子育て世帯に対しては、当該システムの多言語対応機能を追加することで、誰もが子育てしやすい環境づくりを行う。なお、結婚・子育て支援のポータルサイトとして運用し、当該システムの回答先リンクとして多用しているhapiモンへも多言語対応機能を追加し、これら一連の機能拡充については、対象者(外国人子育て世帯)へ情報が行き届くよう、広報周知を拡充する。</p> |  |                            |           |              |

|         | 番号 | 項目                       | 内容   | ステップ<br>アップ | KPI<br>設定 |
|---------|----|--------------------------|--|-------------|-----------|
| 個別事業の内容 | 1  | 「聞きなっせAIくまもと」多言語対応機能追加   | <p>「聞きなっせAIくまもと」は、主に就学未満のお子さんの困りごとにAIが24時間365日回答することに加え、子育てイベントや新型コロナウイルス小児ワクチン接種などブッシュ型の情報発信を行うシステム(※)。また、外出支援の位置づけで「子育て応援の店」や「結婚応援の店」を位置情報で検索できるよう機能改修を行い、利便性向上に取り組んできた。</p> <p>令和4年度から山口県とAIチャットボットを共同で利用し、連携・協力して事業を実施することで、AI機能を搭載した新システムを構築。</p> <p>R5年度以降、県内在住外国人が多く増えることが見込まれるため、当該システムに多言語対応機能(英語、中国語(簡体字/繁体字)、韓国語、フランス語の5か国語)を追加する。</p> <p>また、「聞きなっせAIくまもと」の回答先リンクとして多用しているhapiモン(本県の結婚・子育て情報を構築するポータルサイトとして運用)も多言語対応機能(英語、中国語(簡体字/繁体字)、韓国語、フランス語の5か国語)を追加。</p> <p>なお、実際に外国人子育て世帯の方に試行してもらった調査後、本格的な運用を行う。</p> <p>※通常のシステム運用経費については、一般財源対応とし、上記改修に係る費用のみ申請。(3年ルール適用)</p> | ○           | ○         |
|         | 2  | 「聞きなっせAIくまもと」機能拡充に係る広報周知 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能拡充を含めた広報事業として、周知用チラシ、ポスター、子育て情報誌を作成し、配布。</li> <li>➢紙媒体配布先:市町村、結婚応援の店、子育て応援の店、小児科、産婦人科、保育所、幼稚園、熊本県外国人サポートセンター等 4,500か所</li> <li>➢数量</li> <li>・子育て情報誌掲載2P 2回</li> <li>・チラシ40,000枚 ポスター5,000枚</li> <li>・テレビ告知1回 ・CM作成 15秒×50回</li> </ul>  | ○           |           |